

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月14日

【四半期会計期間】 第129期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 オーベクス株式会社

【英訳名】 AuBEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗原則義

【本店の所在の場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第128期 第3四半期 連結累計期間	第129期 第3四半期 連結累計期間	第128期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	2,805,928	3,072,194	3,890,155
経常利益	(千円)	170,143	308,341	343,380
四半期(当期)純利益	(千円)	172,066	227,866	292,022
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	188,837	291,773	343,468
純資産額	(千円)	2,705,699	3,134,136	2,890,818
総資産額	(千円)	5,481,592	5,723,987	5,676,003
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	12.75	16.52	21.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	49.2	54.6	50.8

回次		第128期 第3四半期 連結会計期間	第129期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	8.98	6.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日本銀行の金融緩和等によって円安株高が進行し、企業業績の改善や個人消費の持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、欧米諸国の財政問題や新興国の経済成長の鈍化等が懸念され、国内では円安による輸入原材料費の上昇や4月からの消費税増税に伴う消費動向の下振れリスクなどもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは、売上の拡大、コスト削減、製品開発の強化に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,072百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益は299百万円（前年同四半期比56.6%増）、経常利益は308百万円（前年同四半期比81.2%増）、四半期純利益は227百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

(テクノ製品事業)

テクノ製品事業は円安の進行などもあり、輸出売上が順調に推移した結果、売上高は2,374百万円（前年同四半期比13.5%増）、セグメント利益（営業利益）は519百万円（前年同四半期比37.1%増）となりました。

(メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、医療費抑制策の影響や競業他社との市場競争など厳しい状況が続いております。ガイドワイヤーの販売は堅調に推移しましたが、インフューザー（薬液注入器）については第2四半期で発生した不具合品回収の影響により、売上高は695百万円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント損失（営業損失）は14百万円（前年同四半期 セグメント利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ47百万円増加し、5,723百万円となりました。これは主に、仕掛品143百万円の増加、原材料及び貯蔵品71百万円の増加、受取手形及び売掛金88百万円の減少、その他流動資産65百万円の減少、商品及び製品63百万円の減少などによるものです。

負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ195百万円減少し、2,589百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債115百万円の減少、未払法人税等41百万円の減少、短期借入金38百万円の減少などによるものです。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ243百万円増加し、3,134百万円となりました。これは主に、利益剰余金182百万円の増加、為替換算調整勘定39百万円の増加、その他有価証券評価差額金22百万円の増加などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は54百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,463,116	15,463,116	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であります。
計	15,463,116	15,463,116		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		15,463,116		1,939,834		484,958

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 367,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,921,000	14,921	
単元未満株式	普通株式 175,116		
発行済株式総数	15,463,116		
総株主の議決権		14,921	

- (注) 1 完全議決権株式(その他)欄の普通株式のうち、1,310,000株につきましては、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。
2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式573株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーベクス株式会社	東京都墨田区両国 4-31-11	367,000		367,000	2.37
計		367,000		367,000	2.37

- (注) 当社は、「株式給付信託」の導入に伴い、平成24年3月12日付けで自己株式1,310,000株を資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。なお、自己株式数については、平成25年9月30日現在において信託E口が所有する当社株式(1,310,000株)を自己株式数に含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人グラヴィタスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,454	1,134,652
受取手形及び売掛金	1,055,541	966,659
商品及び製品	221,141	158,039
仕掛品	710,303	853,372
原材料及び貯蔵品	187,002	258,415
繰延税金資産	90,431	87,097
その他	165,041	99,371
貸倒引当金	114	98
流動資産合計	3,527,802	3,557,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,951,401	1,988,107
減価償却累計額	1,289,722	1,335,164
建物及び構築物(純額)	661,679	652,942
機械装置及び運搬具	2,187,810	2,262,457
減価償却累計額	1,791,469	1,871,457
機械装置及び運搬具(純額)	396,341	390,999
土地	722,523	722,523
リース資産	114,281	68,501
減価償却累計額	102,957	54,207
リース資産(純額)	11,324	14,294
建設仮勘定	3,968	13,812
その他	346,504	357,913
減価償却累計額	263,732	282,767
その他(純額)	82,771	75,146
有形固定資産合計	1,878,608	1,869,718
無形固定資産		
特許権	10,426	8,568
その他	10,925	12,514
無形固定資産合計	21,351	21,082
投資その他の資産		
投資有価証券	140,199	171,445
長期貸付金	800	-
出資金	210	210
繰延税金資産	1,365	-
その他	140,804	139,670
貸倒引当金	35,650	35,650
投資その他の資産合計	247,730	275,676
固定資産合計	2,147,690	2,166,477
繰延資産		
社債発行費	510	-
繰延資産合計	510	-
資産合計	5,676,003	5,723,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,452	403,416
短期借入金	38,500	-
1年内返済予定の長期借入金	166,850	193,800
1年内償還予定の社債	115,000	-
リース債務	6,077	4,457
未払法人税等	46,726	5,423
賞与引当金	62,098	47,777
その他	172,137	174,579
流動負債合計	995,843	829,453
固定負債		
長期借入金	1,439,580	1,383,480
リース債務	5,653	10,308
繰延税金負債	1,550	7,454
再評価に係る繰延税金負債	36,799	36,799
退職給付引当金	296,110	321,380
負ののれん	8,673	-
その他	975	975
固定負債合計	1,789,341	1,760,398
負債合計	2,785,185	2,589,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	496,036	496,043
利益剰余金	713,852	896,401
自己株式	191,749	193,286
株主資本合計	2,957,973	3,138,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,957	26,009
土地再評価差額金	82,312	82,312
為替換算調整勘定	3,743	43,697
その他の包括利益累計額合計	74,611	12,604
少数株主持分	7,456	7,748
純資産合計	2,890,818	3,134,136
負債純資産合計	5,676,003	5,723,987

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,805,928	3,072,194
売上原価	1,925,606	2,045,526
売上総利益	880,321	1,026,667
販売費及び一般管理費	688,895	726,940
営業利益	191,426	299,727
営業外収益		
受取利息	413	326
受取配当金	1,941	848
貸倒引当金戻入額	-	14
負ののれん償却額	13,010	8,673
為替差益	3,671	22,104
その他	4,629	6,443
営業外収益合計	23,665	38,411
営業外費用		
支払利息	30,704	21,688
その他	14,245	8,108
営業外費用合計	44,949	29,796
経常利益	170,143	308,341
特別利益		
負ののれん発生益	34,512	-
特別利益合計	34,512	-
特別損失		
たな卸資産廃棄損	-	51,589
固定資産除却損	1,294	-
投資有価証券売却損	249	-
特別損失合計	1,544	51,589
税金等調整前四半期純利益	203,111	256,752
法人税、住民税及び事業税	24,891	24,510
法人税等調整額	241	2,474
法人税等合計	25,133	26,985
少数株主損益調整前四半期純利益	177,978	229,767
少数株主利益	5,911	1,900
四半期純利益	172,066	227,866

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,978	229,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,989	22,051
為替換算調整勘定	17,848	39,954
その他の包括利益合計	10,859	62,006
四半期包括利益	188,837	291,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,926	289,872
少数株主に係る四半期包括利益	5,911	1,900

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
(連結納税制度の適用) 当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	36,762千円	33,335千円
支払手形	89,164 "	107,534 "
その他(設備関係支払手形)	5,554 "	"

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	139,417千円	148,380千円
のれんの償却額	"	1,391 "
負ののれんの償却額	13,010 "	8,673 "

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	45,350	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	45,317	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,092,006	711,207	2,803,214	2,714	2,805,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高				21,870	21,870
計	2,092,006	711,207	2,803,214	24,584	2,827,798
セグメント利益	379,115	6,337	385,452	13,993	399,445

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	385,452
「その他」の区分の利益	13,993
全社費用(注)	208,018
四半期連結損益計算書の営業利益	191,426

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「テクノ製品事業」セグメントにおいて、朝日商事株式会社が当該会社の自己株式を少数株主から取得したことに伴い、当第3四半期連結累計期間において負ののれん発生益34,512千円を計上してあります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,374,324	695,223	3,069,548	2,646	3,072,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高				21,870	21,870
計	2,374,324	695,223	3,069,548	24,516	3,094,064
セグメント利益又は損失()	519,918	14,524	505,393	14,468	519,861

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	505,393
「その他」の区分の利益	14,468
全社費用(注)	220,134
四半期連結損益計算書の営業利益	299,727

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	12円75銭	16円52銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	172,066	227,866
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	172,066	227,866
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,494,383	13,789,484

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月10日

オーベクス株式会社
取締役会 御中

監査法人グラヴィタス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 田 稔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 藤 本 良 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーベクス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーベクス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。